

製品名: MED9 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13781**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	16kDa

抗原情報

遺伝子名	MED9 MED25
別名	
遺伝子 ID	55090.0
SwissProt ID	Q9NWA0
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。AA 範囲: 70-150

背景

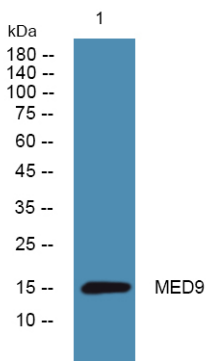
多タンパク質メディエーター複合体は、DNA 結合転写因子による RNA ポリメラーゼ II 転写の活性化に必要なコアクチベーターである。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、メディエーター複合体のサブユニットであると考えられている。この遺伝子

は、17番染色体のスミス・マゲニス症候群領域に位置する。[RefSeq提供、2008年7月]、機能: ほぼすべてのRNAポリメラーゼII依存性遺伝子の転写制御に関与するコアクチベーターであるメディエーター複合体の構成要素。メディエーターは、遺伝子特異的な制御タンパク質からRNAポリメラーゼII転写機構への情報を伝達する橋渡しとして機能する。メディエーターは、調節タンパク質との直接相互作用によってプロモーターにリクルートされ、RNAポリメラーゼIIおよび一般的な転写因子との機能的な開始前複合体の組み立ての足場として機能します。、類似性:メディエーター複合体サブユニット9ファミリーに属します。、サブユニット:メディエーター複合体の構成要素で、MED1、MED4、MED6、MED7、MED8、MED9、MED10、MED11、MED12、MED13、MED13L、MED14、MED15、MED16、MED17、MED18、MED19、MED20、MED21、MED22、MED23、MED24、MED25、MED26、MED27、MED29、MED30、MED31、CCNC、CDK8、およびCDC2L6/CDK11で構成されています。MED12、MED13、CCNC、およびCDK8サブユニットは、CDK8モジュールと呼ばれる独立したモジュールを形成します。CDK8モジュールを含むメディエーターは、このモジュールを欠くメディエーターよりも転写活性化の促進活性が低くなります。1つ以上の異なるサブユニットを欠くメディエーター複合体の個々の標本は、ARC、CRSP、DRIP、PC2、SMCC、TRAPなど様々な名称で呼ばれています。

研究分野

RNAポリメラーゼ; エピジェネティクスと核シグナル伝達; 転写; メディエーター複合体; ポリメラーゼ関連因子; Pol II転写

画像データ



DU145細胞溶解液のウェスタンブロット分析、MED9ウサギポリクローナル抗体を1:1000に希釈し、4°で一晩